

グルメ！ものづくり！観光！全国から集まる“地域のたから”計36ブースがグランプリ目指し競演！

## 「地域活性化たからいち in 横浜」開催決定！

2013年7月20日(土)11時～18時30分 入場無料

於・パシフィコ横浜 展示ホール 「サマーコンファレンス 2013」と同時開催

公益社団法人日本青年会議所

公益社団法人日本青年会議所(本部:千代田区平河町 会頭:小畑宏介 以下「日本JC」)は、20回目の実施で毎年恒例となる夏の大规模フォーラム「サマーコンファレンス 2013(以下「サマコン」)」開催に合わせ、全国のグルメやものづくり技術、観光資源などの“地域のたから”を一堂に集め、ブースやステージイベントを通じ紹介する「地域活性化たからいち in 横浜」を、2013年7月20日(土)10時から18時30分まで、パシフィコ横浜(横浜市みなとみらい)で開催します。

### ■全国21都道府県の“地域のたから”のゴールドメダル グランプリ選出！

日本JCの考える“地域のたから”とは、農林水産物や加工品などの地域産品、ものづくり職人や地場産業など形のない技術、自然環境や景観をはじめとした観光資源など、その地域にしかない、その地域ならではの“資産”を指します。地域活性化に取り組む日本JCでは、地域に眠る“資産”の原石を磨く、数々のアプローチを行っております。

当日は、全国21都道府県から計36ブースが出展。個性豊かな各地のブースやステージイベントを通じ、地域活性化の鍵となる“資産”を、食べ、見て、体験いただけることから、親子でのご来場を期待しております。また、出展全ブースから「飲食」「物販」「まちづくり」の3部門を切り口にそれぞれ1位～3位を選出、この中から今年度の「たからいちグランプリ」を決定します。

※たからいちの出展ブース内容とスケジュールは、添付資料(2枚目以降)を参照ください。

### 「地域活性化たからいち in 横浜」開催概要

- 開催日時 : 2013年7月20日(土)11時～18時30分
- 入場費: 無料
- 場所 : パシフィコ横浜 展示ホールC
- 主催 : 公益社団法人日本青年会議所

### 「サマーコンファレンス 2013」開催概要

- 催事名 : サマーコンファレンス 2013
- 主催 : 公益社団法人日本青年会議所
- 協力・共催 : 一般社団法人横浜青年会議所
- 後援 : 経済産業省、横浜市
- 開催日時 : 2013年7月20日(土)11時～17時30分、21日(日)10時～12時30分
- 場所 : パシフィコ横浜 各会場

### ＜本件に関する報道関係のお問い合わせ＞

公益社団法人日本青年会議所 サマーコンファレンス 2013 運営事務局

TEL : 045-228-8080

## ■参考資料

### <たからいちグランプリ審査員>

- ・土井健夫 氏 【株式会社 事業開発推進機構 代表取締役／内閣府 地域活性伝道師】
- ・白神道空 氏 【株式会社 TSS プロダクション プロデューサー／内閣府 地域活性伝道師】
- ・伊藤雅明 氏 【横浜そごう営業催事担当】
- ・高橋俊宏 氏 【榎出版社「ディスカバー・ジャパン編集部」編集長】
- ・浦田一哉 【公益社団法人日本青年会議所 副会頭】

### <出店一覧>

発掘場所	名称	ソーシャル・ストック	解説
1 青森県八戸市	せんべい汁	明治、昭和と続くせんべい汁の歴史	2012年B-1グランプリin北九州でゴールドグランプリを受賞したせんべい汁を、手軽に家でも食べられるせんべい汁のセットです。
2 山形県山形市	玉こんにゃく	こんにゃくの消費量が日本一の山形	出展商品PRと取り組み内容:山形県はこんにゃくの消費量が日本一です。山形名物「玉こんにゃく」として県内はもちろん、観光客の皆様にも食されている玉こんにゃく。山形県では代表的なソウルフードとなっております。
3 福島県二本松市	玉羊羹	古くから受け継がれる和菓子の文化	二本松市の和菓子文化で代表とされるものが羊羹であり、その中でも『羊羹』は独自の形状、歴史、食べる時の楽しさがあるなど、自信を持って全国に発信できる二本松の地域のたからです。
4 茨城県つくば市	幻の飯村和牛 焼肉ブラック	年間20頭しか流通しない「幻の飯村牛」	地元の農業 酪農関係者と連携を図り、地元の食材を使用することにこだわり、地元の名物・名産を作りたいという思いから生まれたオリジナルの焼肉丼。
5 茨城県古河市	どぶろくサワー	古河ブランドに認定された「古河のどぶろく」	長年、蘇らせたいと夢に描いていた味は、どこか懐かしく、どこか新しい味に仕上がりました。もろ味の旨み、一粒一粒を、どうぞお楽しみ下さい。
6 茨城県古河市	古河ブランド	行政と民間が一体となって確立する古河ブランド	経済活性化戦略として「古河ブランド」を確立し、市のイメージ向上、ブランド製品の販売拡大等を通じて地域の活性化を図るため、古河市ブランド戦略会議が行なわれています。
7 千葉県習志野市	習志野ソーセージ	ドイツ人が伝えたソーセージ発祥の地	習志野ソーセージは約100年前に、日本に初めてソーセージの製造法が伝わったドイツ製法による防腐剤などを使用していない無添加のソーセージです。
8 千葉県鎌ヶ谷市	梨フレーバーカフェオレ&房州びわゼリー	日本一を誇る梨の産地と江戸から続く房州びわ	千葉県の特産品である梨をジャムにして、カフェオレと合わせた香り豊かな梨のフレーバーカフェオレと房総地域で生産されているびわの美味しさをそのまま味わってみたいとの思いから誕生したびわゼリー。
9 千葉県浦安市	のり、あさり	漁業の伝統とディズニーランドの新旧一体となった町	海苔の養殖や、アサリ漁がかつて浦安の産業の中心であり、長い伝統の味として今現在も残っています。今回のたからいちではそんな浦安の伝統ある海苔とアサリをふんだんに使った料理を提供します。
10 千葉県成田市	ぴーなっ最中	明治の時代から育てられているピーナッツ	落花生の形をした最中種に、国産手亡と落花生の甘煮を練りこんだ白餡が包まれています。パッケージもかわいらしくユニークで、幅広い年代層の方から愛されているお菓子です。
11 埼玉県朝霞市	地域活性プロジェクト～あさからあげ～	江戸から続く人参と新しいからあげとの融合	あさからあげに使用されるにんじんは、この地域の特産です。にんじんに関わる歴史は、江戸時代にさかのぼります。地域に根付いているにんじん誰からも親しまれているからあげを組合わせた商品を発信する事で、地域に愛着や誇りを持って頂けると考えています。
12 埼玉県熊谷市	熊谷ホルモン	養豚の伝統と産地だから考えられた内蔵を食す技術	新鮮な熊谷の豚ホルモンを味噌ベースのたれにからめて提供します。熊谷市としても豚ホルモンを使った料理をバックアップしている体制です。
13 埼玉県入間市	～癒しの先の前進に目を向けた～ アドバンスカラーセラピー	グローバルに展開するカラーセラピーが息づく街	アドバンスカラーセラピーは名刺サイズの色カードを用いたシステムです。選んだ色には自分の気持ちが投影されます。カードの裏に書かれた色彩心理を表す言葉をきっかけに心のケアやコーチングが効果的にできます。
14 埼玉県さいたま市	盆栽だー！！	盆栽業者たちが作る盆栽村の歴史	さいたま市が世界に誇る盆栽のまち。大宮盆栽村。そこで生まれた、話題のご当地サイダー「大宮盆栽だー！！」。甘さ控えめのスッキリとした大人の味をお楽しみください。

発掘場所		名称	ソーシャル・ストック	解説
15	東京都文京区	江戸文字	現代に残る江戸文字	江戸文字を使っている消し札や千社札等は現代風にアレンジを行い、携帯ストラップ、シール等にして現代にも合うスタイルへと変化させつつ江戸文字文化をつないでいく工夫をしている。
16	神奈川県藤沢市	藤沢ナポリタン	湘南藤沢の大地で育まれたトマト	湘南は藤沢で収穫されたトマトで作った、トマトケチャップと藤沢産のお野菜で作ったもちもち麺のナポリタンです是非ご賞味ください。
17	神奈川県藤沢市	芋焼酎藤沢日和 おこじゅう	藤沢の大地で取れたサツマイモ	藤沢の大地で取れたサツマイモから作られた、芋焼酎藤沢日和 おこじゅう」を堪能してください。
18	神奈川県相模原市	的祭最中	無形民俗文化財に指定される 的祭り」の文化	この最中は、毎年1月6日に相模原の田名八幡宮で行われる「的祭り」にちなんだ最中で、その年の農作物の豊凶や天下泰平などを占った歴史ある行事で相模原市の「無形民俗文化財」にも指定されています。矢が的を射る様子をイメージした最中です。
19	神奈川県平塚市	弦斎カレーパン	村井弦斎が暮らした町	生地にはお米とターメリックを混ぜ込み、カレーフィリングとは別に福神漬も入れ揚げたてでの販売に特化した。平塚市の名産品にも選ばれている。
20	神奈川県三浦市	100%ニンジンジュース	大切に育てた人参	地域の水産資源である海藻などを野菜の肥料に混合させるなど、自然豊かな三浦半島でしかできないおいしい野菜づくりを行っています。大切に育てた人参を是非ジュースとしてご賞味ください。
21	神奈川県平塚市	湘南ひらつか七夕まつり	戦後復興から始まった七夕の町平塚	戦後焼け野原となった平塚のまちを憂い、1950年7月に「復興まつり」として開催されました。1951年7月に仙台七夕まつりを模範に第1回「平塚七夕まつり」が開催され、現在に至ります。毎年300万人の方々が参加する歴史あるまつりです。
22	富山県下新川郡	入善ジャンボ西瓜サイダー	日本一甘く美味しく巨大な西瓜 『入善ジャンボ西瓜』	越中富山県入善には日本一甘くて美味しく巨大な西瓜『入善ジャンボ西瓜』があります。この『入善ジャンボ西瓜』のすそ野を広げようと開発された商品が『入善ジャンボ西瓜サイダー』です。
23	福井県福井市	ローヤルさわやか	水が豊かな福井	ご当地サイダーのブームに先駆けて、福井の子供たちの夏の飲み物として定番となっていた炭酸飲料。販売当初から大手量販店よりも昔ながらの駄菓子屋販売にこだわり、子どもたちの記憶に残る飲み物です。
24	新潟県長岡市	こわれせんべい	丹精込められて作られた米どころ長岡の米	こわれせんべいは丹精込められて作られた米どころ長岡の米を使用した、岩塚製菓の米菓の規格外の煎餅やあられ、おかきなどを袋に入れたものです。
25	静岡県富士宮市	富士宮やきそば	富士山の麓の富士宮市独自の焼きそば	日本一の富士山の麓の富士宮市で食べられてきた焼きそばが、「富士宮やきそば」という名称で日本一有名な焼きそばとなりました。コシの強い太麺とラードを絞った後の肉かす、いわしの削り粉が特徴の焼きそばです。
26	愛知県一宮市	木曾川四季菜(カラフル)サンド 尾州織物	超極早生玉葱』を活かす。	玉ねぎと相性のよい彩り鮮やかな5種類(トマト、青梅、みかん、かぼちゃ、紫芋)のフルーツ&ベジタブルペーストを使用し、味わいだけでなく見てカラフルな新感覚を是非ご賞味ください。
27	滋賀県彦根市	彦根カロム	明治から続くカロム	カロムはビリヤードとおはじきを融合されたようなゲームであり赤と青のバックを落としい最後にジャックを落としたものが勝ちとなるシンプルにして奥の深いゲームです。
28	大阪府泉佐野市	匠タオル	明治から続くタオル作成の技術	明治20年から続く大阪・泉州タオル産地では、後晒製法と呼ばれる独特な製法を一貫して守り通してきました。
29	兵庫県伊丹市	大村寿し	大村氏が伝えた500年以上続くお寿司	1480年(文明12年)大村純伊(すみこれ)を歓迎する領民が炊き立ての米飯を広げ、魚の切り身や野菜のみじん切りなどを乗せて押さえたものを提供しました。将兵たちはこれを脇差して角切りにして食べたと言われる歴史あるお寿司。
30	和歌山県橋本市	ひねキング	卵を産まなくなった鶏を食する文化	マーケットでは、見かけることの少なくなった卵を産まなくなった鶏(ひね)をつかって、「硬いけれどおいしい」本当のかしわの味をご消費ください。
31	和歌山県和歌山市	和歌山たから〜生姜丸しばり GingerAle〜	全国1位を誇る生姜の産地	平成20年に商工会議所、農業委員会、JAの三者が農商工ファント事業を活用して開発された地域のたから、生姜丸しばりジンジャーエールと梅ひと零ジンジャーエール。
32	和歌山県和歌山市	和歌山たから〜グリーンソフト〜	1958年に開発した世界初の抹茶入りソフトクリーム	和歌山が誇るソウルフード「グリーンソフト」！グリーンソフトは江戸時代中期創業の老舗製茶会社玉林園が、1958年に開発した世界初の抹茶入りソフトクリームです。

発掘場所	名称	ソーシャル・ストック	解説
33 奈良県奈良市	柿の葉寿司	郷土料理からの地域活性	一口大の酢飯に鯖や鮭・小鯛などの切り身と合わせ、柿の葉で包んで押しをかけたおすしとなっています。
34 広島県	広島レモンみっくす ジュース	レモン日本一の町 広島	広島レモンの特徴の一つは、防腐剤を一切使用しないこと。だから、料理にもドリンクにも、皮ごと安心して使える。そして輸入レモンと比べると糖度が高く酸味がまろやかなこと。
35 大分県中津市	中津からあげ	戦後、中国から持ち帰ったからあげの文化	油や塩をベースにニンニクやショウガなど約10種類の調味料を使ったタレに漬け込んだものが多く、タレの作り方や漬け込む時間、隠し味等により様々な味付けがあります。また、冷めてもおいしく食べられるように様々な工夫をしています。
36 鹿児島県奄美市	黒糖もろみ	戦後特例で認められた黒糖焼酎の伝統	黒糖焼酎の製造後に残る「黒糖もろみ」に含まれるビタミンやポリフェノールなどの機能性成分を抽出精製した化粧品原料「黒糖もろみエキス」を産官学連携プロジェクトで開発し、オリジナルの無添加化粧品ブランド「あま肌」を事業化している。

### 公益社団法人日本青年会議所 団体概要

団体名	公益社団法人日本青年会議所 / Juniou Chamber International Japan
創立年月	1951年2月9日
社団法人設立年月	1951年3月31日
公益社団法人設立年月	2010年7月1日
主務官庁	内閣府(旧主務官庁:経済産業省)
本部所在地	〒102-0093 東京都千代田区平河町二丁目14番3号
代表者	会頭(代表理事)小畑宏介
日本JC所属会員会議所数	698 LOM
会員平均年齢	約35歳

#### <本件に関する報道関係のお問い合わせ>

公益社団法人日本青年会議所 サマーコンファレンス2013 運営事務局

TEL : 045-228-8080